

New Concept Japanese

新概念日语

【日本語の新概念】

中 級 篇

主编 佟君 陈多友 宿久高

中国对外翻译出版公司

New Concept Japanese

新概念日语

【日本語の新概念】

中国出版集团
世界图书出版公司

WORLD BOOK PUBLISHING CO., LTD.

NEW Concept Japanese

新概念日语

【日本語の新概念】

总策划: 林德 陈多友

主 编: 佟君 陈多友 宿久高

编 委: 陈多友 佟君 宿久高 丁国旗 谭冰
朱小焱 詹懿红 李冬松 刘珏

中级篇

ちゅうきゅうへん

中国对外翻译出版公司

图书在版编目(CIP)数据

新概念日语.中级篇/佟君,陈多友,宿久高编著.北京:中国对外翻译出版公司,2003.8

ISBN 7-5001-1119-3

I.新... II.①佟...②陈...③宿... III.日语自学参考资料
IV.1136

中国版本图书馆CIP数据核字(2003)第010373号

New Concept Japanese

新概念日语

【日本語の新概念】

总策划:林德 陈多友

主 编:佟君 陈多友 宿久高

编 委:陈多友 佟君 宿久高 丁国旗 谭冰 朱小熨

詹懿红 李冬松 刘珏

编撰人员:陈多友 李冬松 刘珏 金秋霞 丁国旗 方海滔

录 音:保莉荣子 柏山有美 望月阳介 小田一彦 北原菜美子

责任编辑:吴少玲

装帧设计:广州市天富恒广告有限公司

出 版:中国对外翻译出版公司

地 址:北京市西城区车公庄大街甲4号

邮 编:100044

印 刷:广东省肇庆科建印刷有限公司

地 址:肇庆星湖大道

850×1168毫米 大32开 9.28125印张 205.62千字

2003年8月第1版 2003年8月第1次印刷

印 数:1-5000册

书 号:ISBN 7-5001-1119-3/H·346

定 价:20.00元 (含磁带 34.00元)

版权所有,翻印必究

中级篇

ちゅうきゅうへん

总序

我国图书市场现有的日语教材及相关的辅助性读物,在数量和种类上已较以前大幅度地增加。但是,其中大多为传统意义的读物,缺乏新意和创造性。尤其在教授细目(Syllabus)的安排上千篇一律地侧重于某一方面,或注重文法细目,或以结构细目为线索,或以场面细目、技能细目为展开的基轴……虽各有千秋,但均无一例外地存在着缺憾。

我们推出的这套《新概念日语》(『日本語の新概念』),突破了传统的樊篱,演绎了日语教材(读物)编写工作的新思路、新概念。它在文法、结构细目的基础上融入了场面、话题、技能、机能、概念、课题等教授细目;立体地、全方位地展现了日语教育及日语学习的多彩多姿的内涵。科学的序列,适宜的难度;绚丽的插图,多彩的文本;精到的语法,严谨的译文。声情并举,图文并茂;装帧精美,专业制作,向读者传导着全新的感受。

《新概念日语》全套读物由〈初级篇〉、〈中级篇〉、〈高级篇〉及〈综合练习篇〉四册组成。为保证读物的理想质量,我们聘请了国内外从事日语教育及研究的有关专家、学者组成编委会,承担了编纂工作,并请日本学界卓有成就的专家负责审定工作。他们都为此读物的付梓付出了巨大的努力。有关学习内容、体系、文字描述、图片、译文等细节都经编委会反复磋商而定。

本读物的编写立足于中国人日语学习者,从中国人学习、运用日语的角度出发,设法使读者系统轻松地学到正统精准且自然优美的现代日语。本读物既重视日常会话、现代文写作,系统地选择句型、语法、词汇,配以精确的解说;又加大了日本科技文化及文学学习的比重,以期扩大学习者的视野,激发其学习兴趣。此外,我们还邀请了日本语音专家为〈初级篇〉和〈中级篇〉的句型提示、会话、类话部分录音。

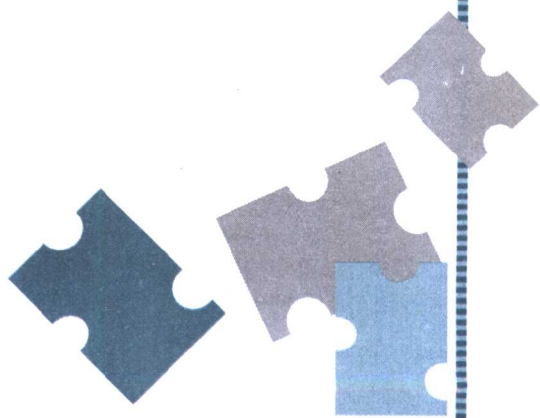
本读物是集体智慧的结晶,在此谨向担任本读物编撰工作的编辑委员会、编者、审校人员表示衷心的感谢。同时,在本读物的编写过程中,我们还得到了日本学界众多专家的有益助言和出版社及社会有关方面的大力支持,在此一并致谢。

若本读物能为中国广大的日语爱好者提供些许学习上的便利,将是编者的莫大欣慰。

中国日语教学研究会副会长
教育部高校专业外语教学指导委员会委员
中国中日比较文学研究会副会长
吉林大学外国语学院院长、博士生导师

宿久高 (宿久高)

2002年7月1日



出版
序言

《新概念日语》是以零起点的日语学习者为对象的体系化系列教材，共分为4册。第一册为〈初级篇〉，第二册为〈中级篇〉，第三册为〈高级篇〉，第四册为〈综合练习篇〉。此系列教材广泛适用于从事商务、办公文秘、社交公关、企业管理等职业的人士自学日语时使用；亦可作为大专院校、中等外语学校、涉日职业培训机构的日语教育的基本教材。

此系列较之传统教材具有诸多显著特征。在此仅介绍〈中级篇〉之特征及使用方法如下：

●〈中级篇〉界于〈初级篇〉与〈高级篇〉之间，其最大特征是承上启下性。首先以巩固基础性知识为宗旨，有所侧重地重复了〈初级篇〉中业已出现过的句型、语法项目、语音、文体知识，但在深度、广度上对它作了进一步展开，尽量使相关知识系统化、深入化；其次，在语义学、语用学、文体学、逻辑修辞等层面上有所展开，并容纳了更多的文化知识要素，更进一步提高学习者的读、写、译能力，为更高一级的学习打下坚实的基础。

本篇的编写思路基本上沿袭了〈初级篇〉。首先是以短小会话形式或短句形式将每课拟学习的重要句型、语法项目、关键词语表达等罗列于「会话」之前加以提示，便于学习者抓住重点，同时了解使用它们的语境或氛围。其次，为了便于学习者通过对短小会话进行置换练习，达到学以致用，举一反三的目的，我们尽量安排了带有普通性的情景会话短文。学习者可以根据需要在日常生活中及社会实践中灵活运用它们。

「会话」主要设定了学习者在实际语言交际过程中常会碰到的形形色色的情景场面；会话中容纳了相关的句型、语法项目，并尽量使会话清新、自然、流畅。为了使学习者更为精确老到地与日本人自由沟通，我们在此篇本文及相关内容中容纳了更为丰富的惯用型、固定表达、俗语、熟语等等。本文原则上仍以「です」、「ます」体为主，但是，简体表达的比重有大幅度的增加。

本篇的学习时间为280~300小时。至学习终了，学习者可以系统地掌握日语中级水准的语法知识、逻辑修饰知识、社会文化知识，掌握5000余个最常用的单词、短语，能够熟练地进行日常会话或工作场合的会话。而且学习者可以凭籍通过在本篇以及〈初级篇〉中学到的语音、

词汇、语法句型、逻辑修辞知识参加并通过由日本国际交流基金及日本财团法人国际教育协会组织举办的面向全世界的“国际日语能力考试”(国际日本语能力試験)[每年12月第二个星期日举行]中的2级以上考试。

对拟进入高级水准日语学习的读者我们又在此篇之后续篇了(高级篇),为此本篇中也作了语法知识、文化知识等方面的铺垫。

●本篇的结构与使用方法。本篇由24课构成。每课正文部分皆由两部分组成。前部分是虚拟日常生活场面或社会生活情境的短文会话,而且大部分地使用了简体会话文体。后部分安排了小品文或科普文章,目的是培养学习者的作文意识、系统的语用能力、逻辑修辞能力等等。

每课的结构是这样依次安排的:「文型提示」、「会话」(前述两项根据需要会出现若干次),「本文」、「類話」、「新出単語」、「言葉学習の手引き」、「課外読物」等。

每课的课文内容由「文型提示」、「会话」、「本文」、「類話」构成,它们主要侧重于句式表达、逻辑修辞。不过为了使其内容更为丰富多彩、生动活泼,我们也安排了一些与本文有关的插图、表格、备忘等。而且遇到外来语时便在该词语后的括号内注上原词的拼写方法,以帮助理解记忆。

在「文型提示」中以短小会话形式或单独句式表达罗列的方式表识各课拟学习的句式结构、语法知识。在此方面多下功夫,稳健、系统地掌握相关知识是极其重要的。但是,同〈初级篇〉一样,这些句式表达或短小的会话原本是从一些有前后文的对话中节录下来的,所以学习时不能单纯地流于形式上的练习。如能根据需要对其进行扩充练习将会产生更好的效果。

「会话」是利用在「文型提示」中学到的语法知识、句式结构编写的对话短文,目的是帮助学习者理解并实际运用刚学过的知识。为了能够在把握整体的基础上灵活运用现学的语法句式知识、对话技能,根据需要将原会话化整为零或重新整合加以深化演练不失为很好的方式。

「本文」中选用了一些优秀的小品文或科普文章。句型、语法、词汇、文体各方面都讲求规范到位。通过这个环节的学习,学习者可以更为熟练掌握已学到的词汇、句型、语法知识,同时培养了逻辑修辞能力、作文能力。而且更能学习到一些专门的科技文化知识。

在「類話」中主要是呼应「文型提示」罗列一些与后者及「本文」有密切关联的句式表达或会话短文。通过这个环节的学习可以扩大主要学习的内容的深度和广度。

在「新出単語」中依次罗列出了本文中出現过的全部新单词，课文中未出现汉字者也尽量加注了汉字；又注明了各个单词的词性；并根据具有权威性的《新明解国语辞典》（第三版）为每个单词加注了（アクセント）（声调）。本书中出现的新单词数量大约为2500~3000个，皆是日常生活、社会生活特定场合中使用频率较高的。

关于语法、句式知识，我们用较大篇幅开辟了「言葉学習の手引き」一栏，根据正统的语法规则、术语用中文加以解说。解说过程尽量详尽，精确却又不失直白易懂。还配有适当的例句（加中文译文），有助于学习者在对本文内容加以理解、把握的同时取得纵深层面的知识延展。

为了进一步开拓学习者的视野，我们在每课后都附加了「課外読物」。它们都是一些介绍日本文化知识小资料，内容包括日本社会文化、政治经济、科学教育等等，并附有译文。

每课课文中出现的句法、句型、词汇短语知识将全部罗列进本系列丛书中的第四册〈综合练习篇〉，学习者可根据此巩固学习效果并提高实际运用能力。

最后为了帮助学习者进行发音听力学习训练，我们邀请了日籍专家为〈初级篇〉和〈中级篇〉的句型提示、会话、类话部分录音，而且，为了帮助学习者加深对课文内容的理解，我们又在本篇最后加注了每课的译文，供大家参考。

本篇所设定的读者层面甚广，惟此，在编写过程中难免挂一漏万，如本篇能为广大日语爱好者提供些许学习日语的便利，将是编者莫大的欣慰。

编者 于华南师范大学

2002年7月1日

目 录

1 总序

3 〈中级篇〉出版序言

11 第一课 自己紹介

- ①「より」表起点 ②「という」表引用 ③ように
④別に～ない ⑤それで ⑥それから ⑦および
⑧～と一緒に ⑨～と関係がある ⑩どうか～ください
⑪～に慣れる ⑫接尾词「ぶり」表状态

10 第二課 中国の海南島へのツアー

- ①まず～、それから
②その上/それに/しかも/そして/そうして/かつ
③～た上に ④～ながら ⑤～に使う ⑥～に分かれる
⑦特に～ない

18 第三課 住宅

- ①しかし ②接续助词「が」 ③でも ④～かねる
⑤いざという時 ⑥だけど/ですけど ⑦とても～ない
⑧ところが ⑨～にもかかわらず ⑩それにしても
⑪～くせに ⑫～からといって ⑬～という ⑭～と違う
⑮形式体言「の」 ⑯终助词「さ」

29 第四課 兩替

- ①感叹词 ②终助词「ね」 ③まだ/もう ④ことがある

38 第五課 地震

拟声词和拟态词

46 第六課 言葉の意味を聞く方法

- ①～というのは～という意味だ ②なんか ③～に当たる
 ④ぐらい ⑤「～では」表限定 ⑥一般的に ⑦疑問詞+でも
 ⑧それとも ⑨お～する ⑩～に見える ⑪～たばかり
 ⑫～だけでなく ⑬～ばかりでなく

55 第七課 依頼

- ①～ばいいです ②ついでに ③実は ④かなり ⑤それなら
 ⑥さっそく ⑦～とも ⑧数詞+ばかり ⑨动词命令形
 ⑩终助词「な」 ⑪接尾词「さ」

64 第八課 断り

- ①～に～度/回/個 ②～について ③無理だ
 ④「する」表时间经过
 ⑤あいにく ⑥そのうちに ⑦～に弱い/強い
 ⑧～といいますと ⑨あまり ⑩～から～が分ります
 ⑪～は～から(で)作る ⑫～には

74 第九課 道を聞く

- ①～たらいいですか ②接尾词「より」 ③～というのは～だ
 ④～というと ⑤～てはどう ⑥～は～が～ ⑦～かどうか
 ⑧～は～、～は～

83 第十課 いろいろな場合の挨拶

- ①～すぎる ②提示助词「でも」 ③～うちに
 ④接尾词「ぶり」 ⑤ものだ ⑥～でいらつしやる ⑦やら

92

第十一課 社外からの電話

- ①～中 ②予定 ③～たら ④念のため ⑤ので、のに、から
⑥～のは、…からだ ⑦～ために ⑧～比べると、…
⑨なかなか…ない

102

第十二課 泊旅行

- ①～ことについてお聞きしたいんですが
②て/で大丈夫でしょうか ③確か、～だったと思う
④～といっても、～ぐらいのことだ ⑤～ているうちに
⑥～つて聞きましたが ⑦～んだつたら ⑧時間名词+中
⑨～ながら

111

第十三課 予約

- ①～のでしたら、私がお(ご)～いたします
②～の場合、いかがいたしましょうか
③～より、むしろ～ほうがいい ④～しかない
⑤(さ)せてくれる(くださる)/(さ)せてもらう(いただく)
⑥～らしい ⑦やつと

119

第十四課 贈物

- ①～てすみません ②～というのは… ③けっこう
④となると… ⑤それでも ⑥～と(に)比べると、…
⑦～ては困る ⑧たいした～ではない ⑨わざわざ
⑩かえつて ⑪ちよつとした…
⑫～のもどうかと思つて、… ⑬～ほど ⑭何かと
⑮はずだ ⑯～まい ⑰～がちだ

130

第十五課 連絡の仕方

- ①～たところ、…た ②～ところだ

- ③～たら、～ように伝えていただけませんか
④～ないで、そのまま ⑤～んだつたら、 ⑥一応
⑦～ということでもいいですか ⑧～かぎり
⑨あまり～ようだつたら ⑩～ことはない(んだ)よ
⑪～ではどうでしょうか ⑫～よう(に)

139 第十六課 お詫の仕方

- ①～ことになっていましたが、… ②～じゃなかったんですか
③～かと思つて ④つい…てしまった ⑤～ばよかった
⑥～なければならなくなつてしまった
⑦～(き)せていただければと思ひまして… ⑧～に対して
⑨～たいして…ない ⑩～によつて、～

149 第十七課 表現・やり方を聞く方法

- ①～れる/～られる ②～ばいいと思う
③～ば、～てもかまわない ④～たら、～た ⑤～と失礼だ
⑥やつと ⑦～ぐらいの～でいい ⑧～ぐらいなら、～そうだ
⑨ただ ⑩～つばなし ⑪～にとつて ⑫～において
⑬～に及ばない

159 第十八課 初対面の場合

- ①例の ②～ことに決まつた ③～に慣れる ④なんとか
⑤～にしたがつて ⑥何よりだ ⑦～とは違う
⑧～までがたいへんだ ⑨～と聞いておりますが…
⑩なかなか ⑪～とのことだ ⑫あたかも～ように
⑬～がたい

168 第十九課 問い合わせ

- ①～でも ②～でしたら、…でも ③ただし ④～ほど～なる
⑤～にかかわる ⑥やはり

177 第二十課 訪問

- ①お(ご)～ください ②～ずに ③～う(よう) ④～から
⑤～としている ⑥～ほど ⑦～じゃ(ちや)悪い
⑧～でも ⑨～てよかつた ⑩あまり ⑪～て、～くらいだ
⑫～といわれても無理だ ⑬これ以上 ⑭～わけにはいかない
⑮～だけでいいから ⑯～ものだ ⑰ただし ⑱絶えず
⑲より ⑳～ではないにしても

190 第二十一課 敬語

- ①わざわざ ②～のおかげで ③わりと ④～とか
⑤ただ～だけ ⑥これだけ ⑦～のだから、大したものだ
⑧一時は～ ⑨一向に～ない ⑩～を～という
⑪～にしたがつて ⑫～わりに

201 第二十二課 アポイントメント

- ①～とのことで ②～かどうかわかりませんが
③～て(で)は何ですか ④～ていただければと思うんですが
⑤～させていただきたいと思いますが
⑥～でしたら、～なら ⑦～だと、～かもしれない
⑧～で(て)済む ⑨～ではまずい ⑩～に着目する
⑪すなわち

212 第二十三課 注意された時

- ①お(ご)～でしょうか ②～に関する

- ③～ことをいうようだが ④～てたでしょう
⑤～とか～とかいうのは知っていた ⑥そこまでは
⑦何もかも ⑧さらに ⑨～あがる、～あげる

221 第二十四課 面接試験

- ①さっそくですが、～ ②～まではいつていない
③～と思いますが、～ ④～いっぱい ⑤～にとって
⑥～ということじゃないか ⑦～によつて ⑧もつとも
⑨～次第 ⑩～がち ⑪～毎に ⑫だけの

232 附录 一 二十四課课文译文



第一課 自己紹介

◆ 文型提示

- 私は本日よりこちらでお世話になります林と申します。よろしくお願ひします。

林と申します。林は林という文字です。

呉と申します。呉は呉服の呉です。

李敏敏と申します。李は木の下に子供の子を書きます。これから李と呼んでください。

私は東京大学の留学生、林少陽と申します。中国からまいりました。
 - 中国の広州からまいりました。広州はご存知のように広東料理の発祥地で、花の都としてもよく知られています。

広州は歴史の古い町で、名勝古跡がたくさんあります。

広州は風光明媚な観光都市として、ずいぶん有名です。

青島は海辺の町で、避暑地として知られています。
-
- 地铁的拥挤情形
- このたび東京大学に留学することになりました。

日本語は大学で勉強しましたが、まだ十分ではありません。

日本語が上手に話せるように留学にやってきました。

肌で日本文化を経験するために日本にまいりました。
 - 日本に来たばかりですが、日本人の生活環境が清潔なのに驚きました。

東京はきれいで、現代的な都市ですが、人口が多いですね。

それに朝夕のラッシュもすごいですね。
 - 趣味はこれといって別にありませんが、登山が好きです。

趣味はいろいろありますが、とくに卓球が好きです。

① ② ③

・私は囲碁が好きです。囲碁の好きな方がいらつしやつたら、ぜひ一緒に楽しみたいと思います。

・みなさんといひ友達になれることを楽しみにしています。

6 ・友達が日本へきました。それで空港へ行きました。

・お茶がありませんでした。それで、スーパーへ買いに行きました。

・雨が降り出しました。それで、運動が中止されました。

◆ 会話（一）

（林さんは東京大学留学生コースの初めてのクラスで自己紹介する。）

私は東京大学留学生の林少陽と申します。林ははやしという文字で少は少ないという字です。そして陽は太陽の陽です。これから林と呼んでください。

私は中国の広州からまいりました。中国では林という名前はアメリカの史密斯や、日本の田中のようにありふれた名前です。広州は国際的観光都市及び広東料理の発祥地としてよく知られていますが、みなさんご存知でいらつしやいますか。

中国では南方大学外国語学部勤務していましたが、このたび留学することになりました。日本語は大学時代に勉強しましたが、まだ十分ではありません。日本語が上手になるために肌で日本人と交流し、たくさん日本語を使うことが必要だと思います。それでこの大学に入りました。

日本に来たばかりですが、東京の生活が便利なのに驚きました。それに東京の人が広州よりも多いですね。

趣味はこれといつて別にありませんが、ハイキングが好きです。ハイキングの好きな方がいらつしやつたらぜひ誘っていただきたいと思います。

みなさんといひ友達になれることを期待しております。どうぞよろしくお願いいたします。

◆ 会話（二）

（林さんはこれからアルバイトをする東陽会社営業部で自己紹介をする。）

課長：今日からみんなと一緒に仕事をする林さんです。